

R. K. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学を目指したきっかけは同志社女子大学の先輩から、留学で得た経験が就活や人生において役立ったというお話を聞いた事です。また私自身、自己主張をする事が苦手だったので海外で学ぶ事で克服する事ができるのではないかと思った事も決断した一因です。留学を考え始めた時期としては 2 年次生の夏頃になります。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

選考にあたって IELTS の受験をする必要があったので、過去問題集を購入し勉強していました。志望する大学によって基準は異なりますが、リーズ大学は overall だけでなくそれぞれのパート毎に取るべきスコアが決まっていたので、満遍なく勉強する様に心がけていました。スピーキングに関しては、YouTube で IELTS 公式が投稿しているスコア別の面接動画があったので、それを参考に勉強していました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

コロナの影響もあり、ビザを申請してから受け取るまで数か月かかりました。ビザ申請も全て英語で複雑なので、早めに取り掛かることをお勧めします。語学勉強に関しては、映画を英語字幕で見るなど日常生活の中で英語に触れる時間を増やすよう意識していました。

④ 現地到着後

ヒースロー空港からキングス・クロス駅へ行き、そこからリーズまで電車で移動しました。ロンドンからリーズまでは電車で約 2 時間かかります。

⑤ 語学研修期間

語学研修先の施設・環境について

歴史ある建物の中にある教室は、改装されたばかりでとても綺麗でした。リーズ大学は留学生を多く受け入れているので、留学生に向けたイベントが毎日開催されておりとても充実していました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業では正規科目を受けるにあたって知っておくべき点を教えていただきました。引用の仕方や論文の構成、論文を書く上で注意すべき点、言い回し等、語学というよりは正規授業プログラムの際に役立つ事を学びました。課題は基本予習や復習ではほぼ毎回の授業でありました。試験に関しては、自身の学力を知るための学力テストと最終課題としてプレゼンテーション、論文を提出する必要がありました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学の敷地がとても広く迷うことも多々ありましたが、どの建物も綺麗で歴史ある建物も多くありとても良い環境でした。

◆ 履修科目

・ Principle of international business

海外の会社と取引をする、または海外でビジネスをするにあたって会社が留意すべき点を学びました。世界的に有名な会社がどの様に事業展開をして行ったのか等、日本の大学では学べなかった事を知り、企業を見る際の視点が変わりました。

・ Japan international Relations

日本の政治に関する授業で、少人数ではありましたが日本に興味を持ったイギリス人の学生が多く参加しており、勉強になりました。日本人の私以上に日本に関して詳しい学生が多く、自身の知識の浅さを痛感し、とても刺激になりました。

・ Using Writing

ライティングの授業で、留学生が殆どかと思っていたのですが、意外とイギリス人の学生も多かったです。文字の起源や形式によって変わる文章構成等を学びました。授業内で意見交換を求められる事が多かった為、スピーキング力向上にも繋がりました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

サークルは日本人 society と東アジア研究会、Taylor swift society に所属していました。特に東アジア研究会は日本人だけでなく他のアジア圏の国々や、アジアに興味を持つヨーロッパ圏の方々等、多国籍な方々が集まっており楽しかったです。Swift society では私の好きなアーティストである Taylor Swift を好きな人が集まっていたので、共通の趣味も多く友人を作りやすかったです。

⑧ 現地で住まいについて

留学期間中 2 回ほど引っ越しをする必要がありました。1 回目に住んでいた Clarence dock village は大学から遠く、バスで 30 分ほどの距離でした。都心部からも離れており人気も少ないので、夜は出歩かない様にしていました。次に引っ越した Central Village は綺麗な施設で、大学や都心部からも非常に近い位置にあったのでとても良かったです。最後に引っ越したのは Hepworth village という学生寮ではない寮でした。実は White Rose View に引っ越しを申し込み、予約していたのですが、四日以内にもう一度承認をしなければならなかった事を知らず、1 か月以内に他の寮を探す必要がありました。不動産会社に自ら連絡し、新たな寮を見つけることにとても苦労したので、私の様な過ちを犯さない様、常にメールをチェックしておくことをお勧めします。

⑨ 長期休暇の過ごし方

長期休暇はコンチキという、35 歳以下の世界中から集まった人々が集まりバスで移動するというツアーに参加しました。ツアーといっても自由時間が長かったので、ツアーの中で友

人を作る必要があり、海外の友人が増え英語力の向上に繋がっただけではなく異文化理解にも繋がりました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

一度説明会に参加しましたが、時差もあり、それ以外のイベントに参加することはできませんでした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学で楽しかったことは様々な国籍の方と交流する事で文化や習慣を学ぶ事ができ、自身の視野が広がったという事です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学中苦勞した事は、1 か月間で寮を探す必要があったという事です。不動産会社の方と電話でやりとりをする必要があり、苦勞しました。引き継ぎのテナントを探した際は、内見に来られたイギリス人の方々に物件の魅力を伝えるだけではなく、質問に対して相手のニーズを考慮しながら答える必要がありました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

バスに乗車する際は手を挙げて運転手に乗車する意思を伝えなければならない、ナイフを購入する際は身分証明書が必要等、文化の違いで驚いた事は多くありました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、留学生に対するサポートが充実しているという事です。留学先で直面した問題に関して気軽に相談できる部署があるだけではなく、留学生同士が繋がれるようなイベントが毎日開催されていました。悪かった点は、ロンドンから少し遠い点ぐらいであり不満に思うことはありませんでした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン持参は必須です。他には日本のお菓子を少し持っていると海外の方に渡すお土産として使えます。また冬は冷えるので、ダウンやカイロが役立ちました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学前と比べて英語学習のモチベーションが高まったと感じます。TOEIC の点数としては留学前と比べて 160 点ほど上がりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私は、留学に行けば、自然と語学力は上がるものだと思っていましたがそうではなく、日本に住んでいた頃と同じように自発的に学習をする必要があると感じました。そこで、私はイベントに積極的に参加し、海外の方と交流する機会を多く持つよう意識したり、帰国時期が近づいた頃には日本から持ちこんだ TOEIC の文法問題集と単語帳を用いて TOEIC に向け

た勉強をしたりしていました。私からのアドバイスは、積極的に海外の方と交流する機会を持って欲しいという事です。留学でしか得られない経験が多くあるので、充実した留学生生活を過ごしてほしいです。また、就職活動に関して留学前から入念に調べておく事をお勧めします。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

ま就職先は未定なのですが、英語を使ってできる仕事に就きたいと考えています。

V. 写真



コンチキというツアーに参加した際の写真です。